Tall Trees Special Presents

みよし芸術祭

埼玉県指定有形民俗文化財、三芳町指定無形民俗文化財

埼玉県芸術文化祭 2026

埼玉県芸術文化祭2026地域文化事業

# 第23回 竹間沢車人形公演

百五十年以上前から三芳町に伝わる「竹間沢車人形」。
日本に、三芳町を含め三地域のみにしか現存していない、貴重な伝統芸能です。



小中学生が演じる「かぐやひめ」もお楽しみください!

## 2026年 12月6日(日) 開演13:30 (開場13:00)

## コピスみよし(三芳町文化会館)ホール

演目 かぐやひめ/壷坂霊験記/寿式三番叟/車人形教室

出演 竹間沢車人形保存会/公募の小中学生/三代目若松若太夫(説経節)/星野高等学校放送部(司会)

全席自由席 【一般】1,500円 【小中高生】500円

発売日 9月12日(土)10:00~

※障がい者手帳割引、団体割引(10名以上~)があります。詳細はお問い合わせください。

プレイガイド コピスみよし(三芳町文化会館)…049-259-3211　コピスみよしオンラインチケットサービス

※未就学児はご入場いただけません。※車いす席・親子室・聴覚支援システムのご用意がございます。詳細はお問い合わせください。
※写真撮影・ビデオ録画、録音は固くお断りします。
※ご予約後のキャンセル、チケット代金の払い戻しは承れません(公演中止の場合を除く)。

※10月1日より、以下でもご購入いただけます。
■三芳町歴史民俗資料館…049-258-6655
■三芳町立中央図書館……049-258-6464

お問合せ コピスみよし(三芳町文化会館) ☎049-259-3211

撮影:千代田路子

竹間沢車人形企画展:2026年11月1日(日)から公演日まで展示コーナーにて(予定)。詳細はコピスみよしSNSをご覧ください。

**Traditional Performing Art of Miyoshimachi The 23rd Chikumazawa Kuruma Ningyo Puppetry**
**Sun.6 Dec.2026 START 13:30 OPEN 13:00**
**Admission: [Adult] 1,500yen [student] 500yen** ＊Preschool children not allowed to enter
**Contact us: Coppice Miyoshi (Miyoshimachi Cultural Center) +81 (0) 49 259 3211**

Kuruma Ningyo is a form of puppet theatre. The puppeteer sits on a small seat with roller wheels (rokuro kuruma) and operates the puppets (ningyo).
This kind of art is inherited in only in 3 areas in Japan, including Miyoshimachi.

主催:埼玉県　埼玉県教育委員会　三芳町　三芳町教育委員会　コピスみよし(三芳町文化会館)　埼玉県芸術文化祭実行委員会　埼玉県芸術文化祭三芳町実行委員会
企画制作:トールツリー(株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

イベントのPRやアーティストバンク、ホール案内などの芸術文化の情報が満載! 三芳町芸術文化ポータルサイト「MAPS」 三芳町　芸術 検索






第22回公演より　撮影：齊藤美春

# ろくろ車に乗って命を吹き込む――三芳町が誇る、人形芝居

「車人形」は、ろくろ車と呼ばれる車輪付きの台に演者がまたがり、一人で大型の人形を操る、全国でも珍しい伝統芸能です。現在は、三芳町をはじめ、3地域にのみ受け継がれています。

本公演では、誰もが知る昔話「かぐやひめ」と、夫婦の深い愛情を描いた名作「壺坂霊験記」を上演します。

世代を超えて受け継がれてきた、竹間沢車人形の世界を、ぜひお楽しみください。

**竹間沢車人形復活50周年のキセキ**
3年前に行われた50周年記念公演の、稽古から本番までの様子に密着取材した映像をご覧いただけます。

## 寿式三番叟

寿式三番叟は、舞台を清める舞で、その日の舞台を無事に務めあげられますようにと願いを込めて、舞台の幕開けに舞います。

## かぐやひめ

『竹取物語』は、日本最古の物語とされ、竹から生まれたかぐや姫が成長し、多くの求婚者を退け、最後に月へ帰っていく物語です。人と異界の別れを描き、今も広く親しまれています。今回は、三芳町の小中学生を公募し、人形遣い、語りも演じます。こども達が一生懸命練習した成果もお楽しみください。

## 壺坂霊験記

夫婦の深い情愛を描いた名作。盲目の沢市は、貧しさの中でも妻・お里に支えられながら壺坂観音へ日々祈りを捧げていた。しかし沢市は「自分のせいでお里が苦労している」と思い込み、ついに壺坂の谷へ身を投げてしまう。後を追ったお里も谷へ――。夫婦の絆と観音の霊験が胸を打つ物語。車人形保存会が情感豊かに演じます。

## 車人形教室

車人形の構造や操り方をわかりやすく解説します。実際に車人形に触れ、動きのしくみを体験できます。

**総指揮**　前田益夫

**演出・舞台監督**　丸山昌彦

**出演**



**竹間沢車人形保存会**

竹間沢車人形は、竹間沢村の神楽師前田左近が江戸の末期から明治にかけて、吉田三芳の芸名で「吉田三芳一座」として、小さな人形を使った人形芝居から車人形に切り替え、自ら車人形の頭や道具を作り、盛んに興行をおこなった人形芝居です。大正時代になり、浪曲、映画などに押され一度は途絶えるも、埼玉県教育委員会が実施した、人形芝居用具緊急調査がきっかけとなり、昭和四十六年に再び脚光を浴びる事となりました。前田家の納戸から車人形が発見され、昭和四十七年、五十年ぶりに復活公演が実現しました。それから半世紀にわたり、保存会は竹間沢車人形を守り継いでいます。

**公募の小中学生**

地域の子どもたちが、車人形の上演に取り組んでいます。初めての挑戦ながら、丁寧に練習を重ねてきました。温かい応援をお願いします。



**説経節 三代目 若松若太夫**

説経師。日本大学芸術学部文芸学科非常勤講師。一九八九年、二代目若松若太夫の公演を聴き、感動を受け入門。一九九八年、三代目若松若太夫を襲名。二〇〇〇年、東京都指定無形文化財（芸能）保持者、板橋区登録無形文化財（説経浄瑠璃）保持者にそれぞれ認定される。

**司会　星野高等学校放送部**

昨年より、この車人形公演のサポートを、司会という形で携わっていただいてます。高校生放送部の素晴らしさも感じていただけましたら幸いです。




## 会場へのアクセス

・最寄り駅：東武東上線「鶴瀬」または「みずほ台」駅　（「池袋」駅から約30分）
その後、バスかタクシーで10～15分、徒歩約45分
・バ　ス：【開演前】「鶴瀬」または「みずほ台」駅からライフバスが運行しています。
駅より約10分「三芳役場」下車。
片道220円、現金のみ、交通系ICカード使用不可。
[時刻例] 鶴瀬駅西口発⑤12:40⑧12:55④13:00 ※丸数字は路線番号
【終演後】鶴瀬駅西口行のシャトルバスを運行予定（無料）
・　車　：関越自動車道「所沢I.C.」より約15分、無料駐車場あり（250台）

**竹間沢車人形 LINEスタンプ販売中! 全40種類**




**お問い合わせ　コピスみよし（三芳町文化会館）049-259-3211（9:00～21:30）**
埼玉県入間郡三芳町藤久保1100-1　休館日：月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）